

蝶々夫人と歌謡アラカルト 無我苑 音楽の調べ



飯田陽子

名古屋音楽大学声楽コース卒業。同大学大学院音楽研究科修了。第9回東京国際音楽コンクール新進声楽家部門、第13回大阪国際コンクール声楽部門Age-G入選。ミッドランド音楽祭ほか、愛知県を基盤としてクラシカルなソロ演奏の他にオペラや演劇、語り、舞踊とのコラボレーション等、会場やジャンルに囚われない表現芸術を追究している。



大原未紗 (蝶々夫人/ケイト)

同志社女子大学芸学部音楽学科声楽コース卒業。クラシック、ミュージカル、ポップスなど他ジャンルに渡る各種コンサートに出演。近年碧南エメラルドオペラ「リコレット」東大寺本坊オペラ「蝶々夫人」ケイト役などに出演。故奈良有紀、石井かおり、青木耕平、米田葉子、益子明美、西影純枝、各氏に師事。



岡莉々香

東京都立総合芸術高等学校(旧都立芸術高等学校)音楽科卒業。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻4年次に在籍。第7回横浜国際音楽コンクール第1位並びにヤングアーティスト賞受賞。第6回東京国際音楽コンクール第4位。平成30年度山田貞夫音楽財団奨学金生。平成30年度第51回愛知県立芸術大学定期演奏会に独唱で出演。これまでに声楽を仲陽子、坂本秀明、中江早希、佐竹由美、甚目裕夫の各氏に師事。



秋山淑恵

静岡大学教育学部芸術文化課程音楽文化専攻卒業。これまでにミュージカルを中心に様々なダンス・演劇作品・イベント等に出演。オペラはこれまでに「椿姫」アンニーナ役、「修道女アンジェリカ」助手修女役、「ナブッコ」アンナ役にて出演。表情豊かな演技で好評を博す。現在東京メトロポリタンオペラ財団スターファームにて研鑽を積んでいる。宝福英樹、渡辺健一などの各氏に師事。



①蝶々夫人 榎部理佐

愛知県岡崎市出身。愛知県立明和高等学校音楽科、京都市立芸術大学卒業。ウィーン プライナー音楽院 オペラレパートリー科を最高位の成績で卒業。これまでに「ヘンゼルとグレーテル」母役、「カルメン」ミカエラ役、ラター作曲「レクイエム」(岡崎初演) ソプラノソリスト等出演。第16回長江杯国際音楽コンクール 声楽部門 一般Aの部 第1位、並びに中国駐大阪総領事賞等、数々の賞を受賞する。現在、拠点を日本に置き、広く活動を展開している。



トローレ 高木奏希

2011年生まれ。2018年8月東大寺本坊での「Japonesque 蝶々夫人と歌謡アラカルト」に於いてトローレ役で出演。



②蝶々夫人 二宮咲子

愛知県岡崎市出身。国立音楽大学声楽科卒業。第2回長久手オペラ声楽コンクール特別賞受賞。第36回イタリア声楽コンクールソ、ファイナリスト。ブッチー二作曲「蝶々夫人」蝶々さん役でデビュー。その後、モーツァルト作曲「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィラ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリジ、「魔笛」パミーナ、ブッチー二作曲「ラ・ボエーム」ミミ、ビゼー作曲「カルメン」ミカエラ役等に出演。その他、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」、オルブ「カルミナ・ブラーナ」等のソリストをつとめる。2011年8月、イタリア、トルレ・デル・ラーゴ・ブッチー二(新野外湖畔劇場)で行われた第57回ブッチー二・フェスティバルで上演された「蝶々夫人」に蝶々さん役で出演。豊潤たる美声、風格ある容姿にとどまらず柔軟な音楽性でどの役においても感動へと導く。また、その気さくな人柄にファンは多く、今が旬のソプラノ歌手としてその活躍は全国へと広がりを見せている。平成23年度愛知県芸術文化選奨新人賞受賞。



案内 ジジ・デッリーコ

イタリア・ナポリ出身。1989年より、イタリア全土の劇場にてコンサートツアーを開始し、その演奏活動の場はヨーロッパ各国・アラブ各国・アメリカにまで及んでいる。1999年、ナポリ民謡のギターの第一人者であるロベルト・ムローロ氏のコンサートツアーにゲストとして参加。2005年、来日し東京・大阪をはじめ全国各地で演奏活動を開始。同時に名古屋港イタリア村での演奏を開始。柔らかなギターの色と優しい歌声で聴衆を魅了している。



ナゾキ 安達沙永子

愛知県蒲郡市出身。愛知県立芸術大学を経て東京芸術大学音楽学部声楽科ソプラノ専攻卒業。卒業後、イタリア国立ベルージャ音楽院オペラ科にて研鑽をつむ。2013年秋、国費留学生として単身渡伊。毎年イタリア、スボレートで行われる伝統的な音楽祭にて2014年参加し好評を博す。2015年Teatro del Pavoneにて「フィガロの結婚」ケルピノ役でオペラデビュー。2013、2014年イタリア政府奨学金給付生。



ピアノ 辻ゆり子

奈良県出身。大阪音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。第10回熊楠の里音楽コンクール第1位。故谷垣智子、右近恭子の各氏にピアノを師事。D.ボールドイン、益子明美の各氏に伴奏法を師事する。関西各地で精力的に歌曲の伴奏に取り組み傍ら、ピアノ教育にも力を入れており、全日本学生音楽コンクールをはじめとする様々な国内ピアノコンクールで多数の入賞者を輩出している。



シャープレス 片桐直樹

京都教育大学音楽科卒業。東京芸術大学大学院オペラ科修了。第22回藤堂音楽賞受賞。関西二期会オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」でレポレロ役としてデビューし、歌唱、演技ともに高い評価を得る。その後、関西二期会を中心に「愛の妙薬」「フィガロの結婚」「蝶々夫人」「椿姫」など、数々のオペラに出演。これまでに90以上の役を演じ、いずれも好評を博す。特にその端正な音楽性、存在感のある多彩な役作りには定評がある。オペラ以外では、ベートーヴェン「第九」をはじめ、バロックから現代に至るまでオラトリオ、宗教曲などのソリストとして著名指揮者、オーケストラとの共演も多い。関西二期会、京都音楽家クラブ会員。相愛大学非常勤講師。



ピアノ 甚目裕夫

国立音楽大学教育音楽科一類卒業、同大学院音楽教育学修了。常に国際的視点に立ち演奏プロデュースをすると共に、早稲田大学国際教養学部非常勤講師では英語でオペラを通して歴史、発声、語学、舞台表現を交える独特な講義が人気である。イタリアを中心とする世界的著名なオペラ歌手との数多い共演から常に国際的視点に立ち、近年は独創的なオペラ企画、コンサートプロデュースを行う。2005愛知万博イタリア館、イタリア村サンマルコ楽団CD「憧れのベニス」豊田コンサートホールや、各地ホールで行政アドバイザーを含め、オペラ企画、演奏、歌唱をし、最近では「こんなオペラ講座は見たことない」と題した講演講座で人気を博す。また、東西文化的差異のアプローチからの声楽マスタークラスが評判を呼び、韓国大邱啓明大学、来年は中国からも招待を受ける。イタリアの名門ザンドナイ国際コンクールの審査員、及びMusica Riva Festival に参画し自身のオペラプロジェクトを監督。ミエッタ・シーグレと共に多数の歌手を世に輩出するプロデューサーとして国際的に信頼を得る。現在、東京メトロポリタンオペラ財団芸術監督、早稲田大学国際教養学部非常勤講師。



ピンカートン 蜂須賀一晃

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。2005年大阪すばるホールにて、「第九」テノールソリストとしてデビュー。オペラでは、モーツァルト「魔笛」タミーノ役、「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド役、ブッチー二「ジャンニススキ」リヌッチョ役・ゲラルド役、ベッリーニ「夢遊病の女」エルビーノ役、ドニゼッティ「愛の妙薬」ネモリーノ役、フンパーディング「ヘンゼルとグレーテル」お菓子の魔女役などに出演。

会場のご案内 碧南市哲学たいけん村 無我苑

〒447-0087 愛知県碧南市坂口町3丁目100番地
☎0566-41-8522

名鉄三河線「北新川駅」下車(名鉄本線をご利用の方は知立駅で乗り換えてください。JR東海道本線をご利用の方は刈谷駅で乗り換えてください。) 駅からはくるくるバス(無料市内循環バス)をご利用するのが便利です。

